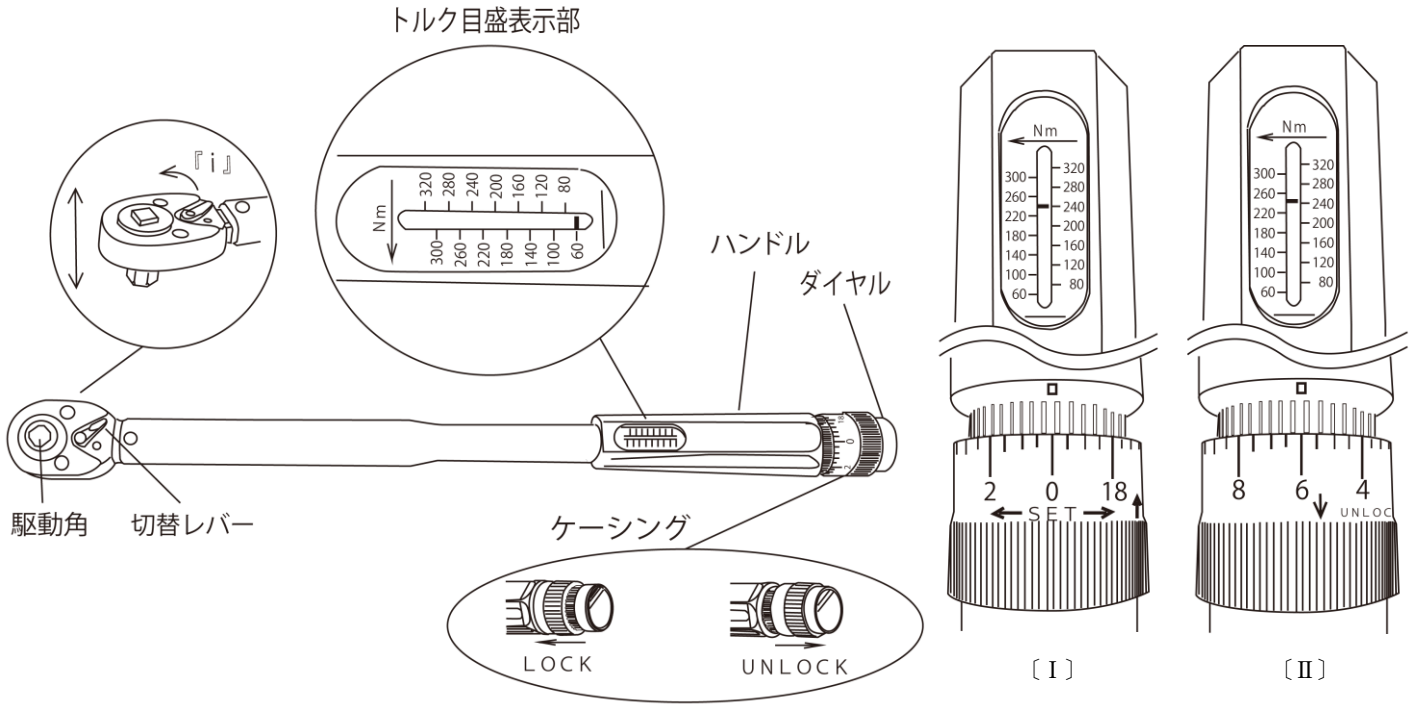
2015.9

取扱説明書
トルク・レンチ
品番：＃４１２５２６００　型式：ＯＴ３２０Ｎ

１，使用方法



※切替レバーを**『ｉ』側に向けてトルク測定**を行ってください。
①ケーシングをＵＮＬＯＣＫ側に移動させて、ロックを解除してください。ケーシングとダイヤルが連動し、ケーシングを回転させることにより、設定トルクを調整することが出来ます。
②設定したいトルクまでケーシングを回転させてください。ケーシングを時計回転方向に回転させると設定トルクが大きくなり、反時計回転方向に回転させると設定トルクが小さくなります。
③ケーシングに表示されている１目盛りは０．５Ｎ・ｍで、１周回転させると２０Ｎ・ｍトルクが増減します。例えば、２４６Ｎ・ｍのトルクに設定する場合、ケーシングを回転させてトルク目盛表示部の赤ラインが２４０Ｎ・ｍ、ハンドルの□の位置にケーシングの目盛りが０（図〔Ⅰ〕参照）を指すように設定してください。更にケーシングを時計回転方向に回転させて、ハンドルの□の位置にケーシングの目盛りが６（図〔Ⅱ〕参照）を指すように設定してください。２４０Ｎ・ｍ＋６Ｎ・ｍで２４６Ｎ・ｍになります。
④トルク設定後、ケーシングを確実にＬＯＣＫ側に移動させてください。ケーシングがＬＯＣＫ側に移動しない場合は、少しだけケーシングを回転させてギアの掛かり位置を変更して移動させてください。これでトルク設定が完了となります。
⑤トルク目盛表示部を正面に向けて駆動角を押し込んだ状態で時計回転方向、トルク目盛表示部を裏面に向けて駆動角を押し込んだ状態で反時計回転方向のトルクを測定することが出来ます。
⑥締め付けると、『コクン』という音がして、首がわずかに傾きます。これで設定トルクに達した事を表します。それ以上は締め付けしないでください。
⑦使用後は、最低目盛（６０Ｎ・ｍ）にトルクを設定して保管してください。

２，注意事項

⚠注意（この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。）

①設定トルクに達し、**首が傾いた状態で、更に締め付けない**でください。
②本機は精密機器の為、衝撃等を与えないでください。
③本機を掃除する時は、洗剤を使用しないでください。
④本機の分解、改造は決してしないでください。
⑤本機に**延長パイプを差し込んで使用しない**でください。正確なトルク測定が出来ません。
⑥本機をラチェットハンドルとして使用しないでください。
⑦ハンドルの中心を握って、トルク測定をしてください。トルクを測定する時のみ使用してください。
⑧本機の使用範囲は、**６０～３２０Ｎ・ｍ（６．１～３２．６ｋｇｆ-ｍ）**です。使用範囲を超えるトルクを掛けないでください。
⑨**緩める作業には絶対に使用しない**でください。
⑩最低目盛（６０Ｎ・ｍ）より下にトルク設定をしないでください。故障の原因になります。

株式会社パーマンコーポレーション
〒５５０－００２１　大阪市西区川口４－１－５
フリーダイヤル　０１２０－２０２－８００